

のぞみこども園

1. 基本方針

・保育方針

心身ともに健やかに育ちながら、将来社会の一員として、生活していくための土台となる
いろいろな能力や、豊かな人間性が身に付くよう、ひとり一人を受け止め育む教育・保育
を目指す。

2. 事業目標

- (1) 園児確保 定員の120%（108名）の確保を目指すと共に、特に乳児の確保
に努めて経営の安定を図る。
- (2) 職員体制の強化 働きやすさ・業務軽減のためにも人材確保は必須であるが、限られた
人員の中で安定運営するためにも、ミドルリーダーを強化し園長を囲
むトップの組織を確立する。

3. 事業計画

(1) 事業内容

- ①定 員 : 2・3号定員90名・1号定員3名（令和8年4月在籍予定数100名）
- ②対 象 児 : 産休明け（満2か月）から就学前の児童
- ③開 園 日 : 月曜日～土曜日（日曜日、国民の休日、12/29～1/4を除く）
- ④開園時間 : 7:00～19:00
- ⑤職員体制 : 園長・主任（2名）・副主任・事務員・栄養士
保育教諭（正規職員／14名 契約職員／1名・非常勤職員／8名）
保育補助（非常勤職員／3名） 清掃用務（非常勤職員／3名）

(2) 行事予定

- ①行 事 : 入園式・進級式・夏まつり・玉ねぎ掘り・お芋掘り・運動会・お餅つき・
クリスマス会・豆まき・生活発表会・卒園式
その他（保育参観・保護者懇談会・遠足・お泊り保育）
- ②定例活動 : お誕生日会・避難訓練・BCP訓練・園外保育
- ③会 議 : 職員会議（毎週）・クラス会議（毎月）・リーダー会議（毎月）
運営会議・給食会議（毎月）

(3) 今年度の取り組み

①利用者・地域の視点

- ・「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園ならびに親子誰でも通園）」の本格実施に伴
い、当園の地域への周知と共に、よりに開かれたこども園であることを目指す。
- ・子どもが中心となり主体的に遊び、学べる環境を提供し、豊かな活動と体験により成長
を促せる教育・保育を目指す。

②財務の視点

- ・園庭開放の「のぞみひろば」や「こども誰でも通園」の充実した実施、広報としてSNSで発信しながら、未就園の乳児が入園に繋がり定員120%（108名）の園児が確保できるよう努める。
- ・各加算の取得や補助金を利用しながら、経営の安定を図る。

③業務プロセスの視点

- ・業務分掌・時間確保などの工夫をしながら、計画的に業務を進める。
- ・職員全員が「のぞみこども園の目指す保育」ができるよう、適宜、業務手順、マニュアル、こども教育・保育計画を周知・確認に努め、同じ方向性を持って業務を進める。
- ・園長に責務が集中せず、役職者のミドルリーダーと一緒に園の運営ができる組織作りを進める。

④職員の視点

- ・人事考課や法人内研修、また保育士のキャリアアップ研修を利用し自己研鑽に努める。
- ・職員ひとり一人がやるべきこと、出来る事を考え主体的に行動できる集団を作る。

4. 地域との連携や関連事項

- (1) 「乳児通園支援事業（こども誰でも通園）」を実施する。
- (2) 京都式キャリアアップ研修、市や府主催の研修へ職員を派遣する。
- (3) 地域の未入園対象の「のぞみひろば」を開催（週1回）し、子育て相談を随時実施する。
- (4) 地域の高齢者を招いて、伝承遊びや寄せ植えなどを教えていただきながら交流を図る。
- (5) 夏まつりに地域の方々も招待する。
- (6) 町内会、及び槇島東地区防災会議の定例会議や防災訓練に参加する。
- (7) 学生の保育実習やボランティア、中・高生の職場体験を受け入れる。
- (8) 園児の入学先の各小学校への引継ぎ、保幼小連絡会「架け橋ブロック」へ積極的に参加する。

5. 施設内における設備関係の設置・修繕等

- ・厨房機器の入替え（2,000千円）（生産性向上・人手不足対策事業費補助金で対応）
- ・お昼寝コットの完全導入（700千円）